



夏休みを利用して①！！

突然ですが、みなさんは1日にどれくらい本を読んでいますか？ 1日10分？20分？1時間？？中には、全然読まない人もいるかもしれません。

もうすぐ長い夏休みが始まります。いつもの生活と違い、自由となる時間が多くなります。その自由な時間を利用して、本を読んでほしいと思います。

さて、よく「読書をするとうまく良い効果がある」といわれますが、どんな効果があるか知っていますか？

1. 言葉に詳しくなる。

本を読むことでいろいろな言葉が覚えられますので、教科書や問題の意味がしっかりわかるようになります。国語だけでなく、数学の文章問題や社会や理科の説明も、自分でしっかりと理解できるようになります。

2. 勉強が得意になる

「本をたくさん読む人は、勉強ができるようになる」ということが、脳の研究やテストなどの調査でもわかっています。自分で読んで考える力が、すべての基礎学力になります。

3. 集中する力がつく

テレビや動画とちがって、本は自分で文字を追っていかないと進みません。本を読んでいるうちに、自然と我慢強さや、集中する力がレベルアップします。

4. 心がやさしくなる

「ここにはどんな景色が広がっているか？」「主人公はどんな気持ちか？」と頭の中で想像することで、友だちの気持ちがわかる、やさしい人になります。



5. 脳が元気になる

本を読むと、脳がしっかり刺激を受けます。そのおかげで、覚える力や考える力がどんどん育っていきます。

このように読書は、たくさんの良い効果があります。

では、1日にどれくらいの時間読めばよいのでしょうか。一番よいとされているのは、「30分から1時間」だそうです。しかも、30分まとめて読まなくても、ちょっとずつ空いている時間に読んで、合計が30分になるだけでもいいそうですよ。

また、ときにはマンガで理解を深めるのもいいそうです。本やマンガはリラックス効果もあるので、頭や気持ちの切りかえによさそうですね。



ちょうど学校図書館で、下のような企画を行っています。

よい機会なので、ぜひ参加してほしいと思います。（参加は自由です。）

感想を書く用紙を今日配布しています。

提出日は、8月28日（金）までです。担任の先生に提出してください。

みなさんの夏休みが有意義な時間になるようにしてください。

夏休みにお家で読書を！



豊能町立とよの東学園 学校図書館
後期課程

うちどく（家読）について

夏休みに家族の人と1冊同じ本を読んで、感想などを語り合しましょう。読む本は、あなたがこれから読みたいと思っている本、学校図書館にある本、あるいはお家の人のおすすめの本、マンガなどなんでもかまいません。自分が好きな作家さんの本や（好きなマンガ）をこの機会にお家の人にすすめてみませんか？そしてその素晴らしさをご家族と共有しましょう。読み終わったら、感想などを用紙に記入して、2学期に提出してください。みなさんから寄せられた感想は名前を公表せず2学期に紹介しようと思っています。

本を学校図書館で借りる場合…**学校図書館は夏休み期間中、閉館しています**
17日（金）までに借りてください。

